

予算	款	項	目	決算書
	6	4	6	238 頁

目名
治山整備事業費

事業名称
治山事業

1. 概要

目的	山地災害防止のための条件整備	対象	受益者
事業概要	○治山事業 ・大分県治山林道協会負担金 74,000円 ・治山事業対策工事(H25年度は事業実施なし)		

臨/経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	治山事業	治山林道協会負担金	負担金補助及び交付金	146	74				74	2
計				146	74	0	0	0	74	

2. 指標設定

成果指標	指標名	災害危険箇所の防災対策		目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—				総合計画/後期基本計画において、基本施策(1-4-1)目標達成のために重要な施策となっている			
活動指標	指標	a		b		c		d	
	数値	目標		目標		目標		目標	

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
災害危険箇所の防災対策		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a		—	—	—
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
市営急傾斜地崩壊対策事業(地元負担率10%)と県単補助治山事業(地元負担率15%)の分担金の差について検討。
対応（改善点等）
県単補助治山事業分担金の軽減。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

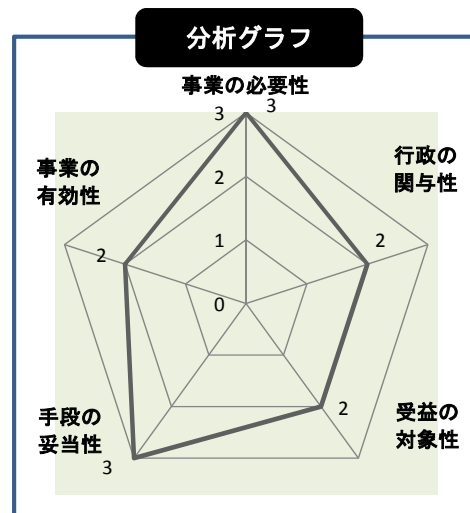
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		254	107	74	7,146
うち経常経費		254	107	74	146
財源内訳	国費				
	県費				3,000
	市債				
	その他				900
	一般財源	254	107	74	3,246
うち経常		254	107	74	146
事業費に係る人件費		430	429	436	444
事業費に係る人役		0.10	0.10	0.10	0.10

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
総務課(防災担当)及び建設課と協議し事業要件、優先順位等決め対策工事を実施している。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業要件等で本事業が必要な場合が予測される。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 地域防災の観点から市が事業主体であるべき。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 事業対象者は申請者である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 要望箇所(危険箇所)の情報を関係課と共有し協議検討することが重要である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 本年度は対策工事を実施していない。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	防災対策上、関係課と連携を図り、適宜対応すること。